

【注意喚起】コンテンツマネジメントシステム Drupal における脆弱性に関する情報

情報処理推進機構(IPA)より、オープンソースのコンテンツマネジメントシステム(CMS)に関する脆弱性の情報が公開されています。

一部では脆弱性を実証するプログラムが公開されたとの情報もあり、今後深刻な影響が懸念されるため、注意喚起いたします。

貴法人・貴社におかれましては、今後の被害発生を防止するため、組織の情報ネットワークを統括する部局及び個別に Web サーバを管理する部局において

- ・影響を受けるバージョンの Drupal を運用するサーバが存在するかの確認
- ・上記のようなサーバが存在する場合には、速やかな対策の実施の検討

をお願いいたします。

Drupal の脆弱性対策について(CVE-2018-7600) - 情報処理推進機構

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20180329-drupal.html>

■概要

Drupal にはリモートから任意のコードが実行可能となる脆弱性が存在します。

この脆弱性を悪用された場合、遠隔の第三者によって、サーバ上で任意のコードを実行される可能性があります。

■影響を受けるバージョン

Drupal 6.x

Drupal 7.58 および 8.5.1 より前のバージョン

■対策

脆弱性の解消 - アップデートする

7.x、8.3.x、8.4.x、8.5.x は開発者が脆弱性を修正した最新版を公開していますのでアップデートを実施してください。また、6.x についても Drupal 6 Long Term Support プログラムにより修正版が公開されていますのでアップデートを実施してください。

なお、6.x、8.3.x、8.4.x はすでにサポートが終了しているため、7.x、8.5.x の最新版へのアップデートを推奨いたします。

■参考情報

JPCERT/CC Drupal の脆弱性 (CVE-2018-7600) に関する注意喚起

<https://www.jpcert.or.jp/at/2018/at180012.html>

Drupal core - Highly critical - Remote Code Execution - SA-CORE-2018-00

<https://www.drupal.org/sa-core-2018-002>

FAQ about SA-CORE-2018-00

<https://groups.drupal.org/security/faq-2018-002>

Drupal 6 Long Term Support

<https://www.mydropwizard.com/blog/highly-critical-drupal-core-security-update-sa-core-2018-002-including-drupal-6>